

市設建築物整備保全（発注関係事務補助）業務委託 長期継続（令和7年度～11年度）
契約に係る実施予定事業者の選定結果について

1 案件名称

市設建築物整備保全（発注関係事務補助）業務委託 長期継続（令和7年度～11年度）
契約期間 令和7年4月1日から令和12年3月31日まで（5年間）

2 選定した実施予定事業者

一般財団法人大阪建築技術協会
全1者

3 公募期間

- ・ 公告 令和6年5月21日
- ・ 説明会 令和6年6月13日
- ・ 参加申請の受付 令和6年6月14日から令和6年6月25日
- ・ 企画提案の受付 令和6年7月22日から令和6年8月13日

4 学識経験者等の意見を聴取する選定会議による審査の結果

(1) 選定委員名簿（敬称略・五十音順）

飯田 匡 （関西学院大学准教授）
伊丹 康二 （武庫川女子大学准教授）
小林 依子 （公認会計士）

(2) 選定会議の開催日

- ・ 第1回選定会議 令和6年4月23日
- ・ 第4回選定会議 令和6年10月30日

※第2回、第3回選定会議では、別の業務にかかる実施予定事業者の選定を審議。

(3) 選定基準

評価項目	審査内容	配点
事業者の実績・能力	<p>実施事業者として、発注関係事務の支援業務や設計業務等の実績・能力があるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共建築工事における発注関係事務を支援する業務について、国や地方公共団体等からの受託実績 ・公共建築工事における設計業務等について、国や地方公共団体等からの受託実績 ・整備保全（発注関係事務補助）業務を実施するための経営基盤 	10 点
配置技術者の実績・経験・能力	<p>本体業務に配置する主任担当者（積算・契約）及び指示業務に配置する受託監督員（建築）として、十分な実績・経験・能力を有しているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務実績 ・実務経験の年数 ・公共建築工事品質確保・建築・設備関連の資格 	20 点
業務に関する提案	<p>A 業務実施体制についての提案が、繁忙期等のサポート体制も含め、業務を確実に行うことができるものとなっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 本体業務の体制について (b) 指示業務の体制について 	20 点
	<p>B 本体業務についての提案が、業務の目的を達成するうえで、的確な内容となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 「違算防止対策」及び「工事契約事務の工程管理・品質管理」について (b) 予算執行管理を適時、的確に行うための取組みについて 	20 点
	<p>C 指示業務についての提案が、業務の目的を達成するうえで的確な内容となっているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> (a) 工事調整業務における「品質管理の確認」について (b) 工事調整業務における「事故防止に向けた取組みと事故発生時の対応」について 	20 点
業務実施に係る経費に関する提案	<p>【本体業務に係る経費】 「6 応募手続き等に関する事項 (4) 企画提案書の提出ア提出書類(オ)業務実施に係る経費に関する提案書A本体業務に係る経費に関する提案」について、経費の縮減に寄与するものとなっているか。 ※上限額を超える提案は失格とする。</p>	5 点
	<p>【指示業務に係る経費】 「6 応募手続き等に関する事項 (4) 企画提案書の提出ア提出書類(オ)業務実施に係る経費に関する提案書B指示業務に係る経費に関する提案」について、経費の縮減に寄与するものとなっているか。 ((A)～(C)の各項目の提案額から算出した落札率の平均により審査する。) ※各項目とも、上限額を超える提案及び最低制限価格を下回る提案は失格とする。</p>	5 点

不備（様式違反、記載漏れや誤字脱字など）の程度により減点（最大5点）	(-5点)
合計	100点

- ※1 選定基準に基づき提案内容等を評価し、「事業者の実績・能力」「配置技術者の実績・経験・能力」「業務に関する提案」の各評価点の合計が配点の6割に満たない応募は、総合力に劣るものとして選定から除外する。
- ※2 「業務実施に係る経費に関する提案」に記載の※印に該当する応募は失格として選定から除外する。

(4) 評価を行った事業者

一般財団法人大阪建築技術協会
全1者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

評価項目	配点	得点	
事業者の実績・能力	10	24	
配置技術者の実績・経験・能力	20	48	
業務に関する提案	A 業務実施体制についての提案が、繁忙期等のサポート体制も含め、業務を確実に行うことができるものとなっているか。 B 本体業務についての提案が、業務の目的を達成するうえで、的確な内容となっているか。 C 指示業務についての提案が、業務の目的を達成するうえでの的確な内容となっているか。	20 20 20	44 42 42
	中計	90	200
業務実施に係る経費に関する提案	本体業務に係る経費に関する提案 指示業務に係る経費に関する提案	5 5	15 9
不備（様式違反、記載漏れや誤字脱字など）の程度により減点（最大5点）	(-5)	0	
合計	100	224	